

平成15年 12月8日(月)

○	開 会	9時59分
○	委員長あいさつ	9時59分
○	議案・現況説明	10時00分
○	質疑・質問	10時29分

問 山電切り下げに伴う物件移転補償の件について、市担当分の最後の1件が終了したことは、大変だったと思うし、御苦労さんであったと思う。これで、本線高架は何としても17年末には終わらせなければならないという姿が見えたし、これからも頑張ってもらいたい。

その上で、播但線・姫新線の高架完了時期が当初平成20年という発言ではなかったかと思うが、それが、最近、本会議も含めて20年度という発言に変わってきているように思うが、それが持つ意味はどういうところにあるのか。

答 播但線・姫新線の切り替えにかかる時期の20年、20年度という表現について特に大義はない。ただ、20年度内には是が非でもということであり、これまでの県・JRとの話し合いの中では、高架切り換え後2年程度ということ、20年ということが出てきている。あえて20年度という表現に変えた、ということではない。完了が20年度から遅れるのでは、と心配されているかもしれないが、それはない。

問 高尾線と産業道路の交差部分について、今現在、將軍橋の途中に高尾線から分岐し接続した部分があるが、その部分には信号がない。安全性についてどう考えているか。

答 大將軍橋の三差路については、そのまま迂回路として使う予定である。今回の仮設橋工事ではさわらない。信号も改めてつくることはない。

問 駅西部の高架橋が上がってきており、いよいよ西側の南北の自由通路をさわっていかねばならないと思うがその時期について示してほしい。

答 自由通路については、山陽本線が出来上がったときには、北側には抜けないので、工程に沿って行っていく予定である。西側自由通路については、JRの施設ばかりなので問題はないが、東側自由通路・十番街の辺りについては、かなりの物件があり、移転していただく事になる。まだ、具体的に説明会等も行っていない。

問 新駅舎における新幹線と在来線の部分は段差になっていたと思うが、その部分のバリアフリーの考え方について、スロープでいくのか、階段でいくのか等、今現在の状況を教えてほしい。

答 新幹線と在来線のホームの差については、在来線の新駅の1階北側から新幹線の2階に上がってきてもらうことになるが、それには階段もエスカレーターも必要である。16年末には2階部に上がる工事が始まるものと思われる。

問 山電の切り下げに伴い、高尾線も切り下げられると思うが、その時期は。

答 高尾線の切り下げについては、地元説明会を11月26日に500人を対象に行った。道路の掘削について、現在の路面より一番深い所で1メートルである。年明けから5月末ぐらいの工事になると思う。今コンピューターグラフィックで資料を作成しているので、3月の委員会で示したい。

問 在来線から新幹線に乗り換えるには、一旦下に下りてまた上がることになるのか。

答 そうである。

問 朝日橋西側の鉄工所の横を通っている地下通路があるが、朝日橋の落橋に伴いどうなるのか。

答 朝日橋の下の地下通路については、現在の朝日橋には、歩道の機能もあるが、仮設橋では歩道をつくらないため、歩行者・自転車は現在の地下通路を通ってもらうことになる。少なくとも仮設橋が存続する限り、地下通路は現状のまま使用する。将来的には内環状東線ができたあかつきには、地下通路は閉鎖することになると思われる。

問 朝日橋の交通量の緩和策として東側のロイヤルクラシック西側の道路(都市計画道路阿保線)を南に抜いて、スムーズに使用するということが重要であると思うが、どう思うか。

答
問

都市計画道路阿保線の南伸については、阿保線・大日線は阿保の区画整理区域内でも最優先道路であり、市としてもできるだけ早く南に抜くべく、事業を進めているところである。

地下通路について、今後ある程度長い期間使うようであるが、それならば、もっと明るくしないといけないのではないかと。また、排水面についても雨が降れば水がたまったりしていたが、照明と排水の問題は解決しておかなければならないと思うが。

答

地下通路については、1日に約2,500人の通行量があるが、その中での安全面からも照明については、道路管理者も神経を使っていると思うが、排水問題を含めて道路管理者に強く申しあげたい。

要 望

迂回路の問題であるが、朝日橋の渋滞緩和のためにも、阿保線を早く南へ抜くべきだと思う。南伸させることによって交通量もかなり回すことができると思うので、できるだけ早く実現してほしい。

答

市街地整備部と協力してできるだけ早く実現したい。

問

山電高架下部分の県担当部分の進捗状況は。

答

県の担当物件は2件残っている。駅部の補強には大きな影響はない。

問

朝日橋の迂回路が外堀川の西側部分に接続するが、この辺りは大変混雑するのではないかと。と思うが。

答

朝日橋の迂回路・仮設橋については、学識経験者や警察・県・地元自治会などを交えて研究を行った。その中で10分おきに交通量を調査し、シミュレーションを行った結果、現在とそれほど変わりはない。もちろんシミュレーションどおりにいくかどうかは分からないが、それに対応するため、市としても職員にアンケートを行った。フレックスタイムについても、データ等を参考にしながら検討していきたいが、朝日橋周辺については、朝夕だけでなく昼間も含めて全体的に交通量が多い。

問

山電地下化について何らかの形で再度模索してほしい。

答

地下化については、市は高架事業に全精力をつぎ込んでいる。長期的な目で見れば、地下化がいいという議論があるのは承知しているが、長い年月をかけて議論してきた結果、現状のとおり進めようということになった。知事も17年末には絶対に完成させなければならない、駅ビルも早く建てなければならないと力を入れている。この前の10月の県の本会議でも、加藤議員の地下化云々の質問に対して、当初は県土整備部長が答弁する予定のところを、知事自らが答弁を行った。とにかく早く事業を行うことが姫路の活性化であるというのが、県の認識である。

問

市債の9億9千万円について、償還年と利率について教えてほしい。

答

所管は財政課であり、借り入れも今後の話で、その時の金利情勢によって変わってくる。

委員長

補正の20億は今年度末に何%ぐらい消化できる見通しか。

答

半分くらいは繰り越すことになる。

○

終 了

11時12分

○

意見とりまとめ

11時12分

○

(1)付託議案審査について

議案第141号については、全会一致で可決すべきものと決定

○

(2)委員長報告について

正副委員長に一任することで決定

○

閉 会

11時15分